

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

事業名 ：一般国道55号 <small>あきどうろ</small> 安芸道路 起終点 ：自：高知県安芸市伊尾木 至：高知県安芸市馬ノ丁	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 四国地方整備局 延長 ：5.8km
事業概要 ： 一般国道55号は、徳島市を起点に小松島市、阿南市、室戸市、安芸市、南国市などを經由し、高知市に至る延長約200kmの主要幹線道路であり、四国広域幹線ネットワークを形成する基幹動脈として、地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。 一般国道55号安芸道路は、地域高規格道路網として整備される「阿南安芸自動車道」の一部であり、四国横断自動車道及び高知東部自動車道と一体的に機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、高知県東部の広域交流の促進及び地域の活性化に大きく寄与する道路である。 また、南海トラフ地震などの災害発生時における緊急輸送道路の確保や、第三次医療施設までの速達性の向上、安芸市内の慢性的な渋滞の緩和、地域産業（農水産業）の活性化支援などを目的として整備を推進している。		
H24年度事業化		H23年度都市計画決定
H24年度事業化		H28年度用地着手
H24年度事業化		R1年度工事着手
全体事業費	約279億円	事業進捗率
		約7%
		供用済延長
		0.0km
計画交通量	8,500～11,200台/日	
費用対効果分析結果	B/C	総費用
(事業全体)	1.4	(残事業)/(事業全体) 217/243億円
(残事業)	1.5	(事業費)：200/227億円 (維持管理費)：16/16億円
		総便益
		(残事業)/(事業全体) 333/333億円
		(走行時間短縮便益)：300/300億円 (走行経費減少便益)：22/22億円 (交通事故減少便益)：11/11億円
		基準年
		令和元年
感度分析の結果		
(事業全体) 交通量変動：B/C= 1.1～1.6 (交通量 ±10%)		
(残事業) B/C= 1.3～1.8 (交通量 ±10%)		
事業費変動：B/C= 1.3～1.5 (事業費 ±10%)		
B/C= 1.4～1.7 (事業費 ±10%)		
事業期間変動：B/C= 1.3～1.4 (事業期間±20%)		
B/C= 1.5～1.6 (事業期間±20%)		
事業の効果等		
南海トラフ地震発生時における緊急輸送路の確保、第三次医療施設への速達性の向上、現道（国道55号）の渋滞緩和、地域産業（農水産業）の活性化を支援など多様な効果が期待できる。		
①円滑なモビリティの確保		
・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・現道等の旅行速度の向上が見込まれる ・現道等の混雑緩和による定時性の確保など路線バスの利便性向上が見込まれる ・JR後免駅（特急停車駅）へのアクセス向上が見込まれる ・高知龍馬空港へのアクセス向上が見込まれる		
②物流効率化の支援		
・JA土佐あき安田支所唐浜集出荷場と高知園芸流通センター間の時間短縮が見込まれる ・高知県東部における農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる		
③国土・地域ネットワークの構築		
・地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の一部を形成し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する ・隣接した日常活動圏中心都市間（安芸市と高知市）を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる		
④個性ある地域の形成		
・「観光振興プロジェクト」、「過疎地域自立促進プロジェクト」、「ゆず振興プロジェクト」を支援 ・高知県東部地域への観光アクセス向上		
⑤安全で安心できるくらしの確保		
・三次医療施設（高知医療センター）への搬送時間が短縮し、60分圏域が拡大する		
⑥災害への備え		
・道路寸断で孤立化する集落の解消が見込まれる		

- ・ 国道55号が通行止めになった場合の代替路を形成する
- ・ 安芸道路は国道55号とともに第一次緊急輸送道路に指定されている
- ・ 南海トラフ地震発生時の津波浸水想定箇所を回避し、緊急輸送道路のリダンダンシーを確保する

⑦地球環境の保全

- ・ CO2排出量の削減が見込まれる

⑧生活環境の改善・保全

- ・ NOX、SPM排出量の削減が見込まれる

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等

・ 高知県安芸市議会、四国8の字ネットワーク整備促進東南部連盟、四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会等より、本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている。

高知県知事の意見

・ 事業継続に異議はありません。四国8の字ネットワークを構成する一般国道55号安芸道路は、県中央部と東部地域とをつなぐ唯一の幹線道路の代替機能を担い、県東部地域において災害に強い道路ネットワークを構築し、発生の可能性が高まる南海トラフ地震をはじめ自然災害への備えを高めるために不可欠な道路です。これに加え、中芸地域の日本遺産をはじめとする重要な観光資源を活かした交流人口の拡大等にも資する重要な道路です。このため、国においては早期の開通に向け、より一層の事業進捗をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・ 「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・ 平成25年2月	南国安芸道路（香南かがみIC-香南やすIC）	延長2.9km	2車線	開通
・ 平成26年3月	南国安芸道路（香南のいちIC-香南かがみIC）	延長2.2km	2車線	開通
・ 平成27年3月	高知南国道路（高知南IC-なんこく南IC）	延長4.7km	2車線	開通
・ 平成28年4月	高知南国道路（なんこく南IC-高知龍馬空港IC）	延長4.1km	2車線	開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 用地取得率約39%、事業進捗率約7%（平成31年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 早期開通を目指し、調査・設計、用地買収を推進するとともに、今年度より工事に着手する。

施設の構造や工法の変更等

・ 今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・ 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。